

平成28年度 公益社団法人 応用物理学会 北陸・信越支部 講演会

入場
無料

日時 平成28年 12月 9日(金) 14:40 ~16:10

場所 信州大学 工学部キャンパス

総合研究棟1階大会議室(W2棟101教室)

(長野県 長野市 若里4-17-1)

演題 光で電子の動きを可視化する
～有機半導体や誘電体を例に～

講師 間中 孝彰先生

(東京工業大学 工学院 電気電子系)

講演内容: デバイス中を流れる電荷やトラップ電荷の可視化は、デバイス動作を議論・理解する上での一助となるが、従来の手法では困難であった。我々のグループでは、このような課題に対し、光第2次高調波発生(SHG)を用いた新しいイメージング手法を開発した。本講演では、はじめに有機トランジスタにおけるキャリア輸送の可視化を紹介し、有機ELや太陽電池におけるデバイス動作とSHG測定との関連性について解説する。また、変調分光法や蛍光減衰法など、電子デバイス評価に対する各種光学的手法の有用性について、実験結果を用いて多角的に議論する。

問い合わせ先 伊東 栄次 信州大学 工学部

TEL:026-269-5227 eito◆shinshu-u.ac.jp

※メールの際は◆を@に変えて送信してください。